

補償要求など決議

水俣病
問題

葦北町漁民が決起大会

水俣病旋風で魚介類が売れなくなった葦北郡葦北町漁協（組合長竹崎正己氏、組合員二百四十二人）では二十日午前十時から漁協組合員約百余人が集って漁民決起大会を開いた。

席上、漁民の生活困窮の原因は新日窒水俣工場の汚水のためだから同工場、国、県に対して漁民の生活権擁護を訴え、新日窒水俣工場

の汚水浄化設備完了まで廃水の排出を禁止せよ②百間港、八幡岡海岸のドベ除去③漁民の転換漁業その他救済対策④工場廃液による不知火海の汚染海域の化学的調査⑤漁業被害補償要求の五項目を要求した決議案を採決した。

なお田浦漁協は二十九日に、田浦漁協は二十日にそれぞれ同様趣旨の漁民決起大会を開いた。